

活動予定

7月

- 3日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導 矢板民生員施設見学（那須TC）
- 6日 黒羽刑務所薬物依存離脱指導
- 7日 3施設合同山登り
- 9日 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター 県北家族会
- 10日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導 明徳会
- 11日 家族教室
- 13日 黒羽刑務所薬物依存離脱指導 群馬県安中市女性会见学（宇都宮OP）
- 14日 J-MARPP 宇都宮私立泉ガ丘中学校講演 栃木県アルコール問題研究会
- 15日 宇都宮保護観察所プログラム
- 17日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
- 18日 危険ドラッグシンポジウム 薬物依存症相談担当者専門研修会
- 19日 茨城ダルクフォーラム講演
- 22日 南那須保護区保護交流会
- 23日 JRCNA in 福岡
- 24日 JRCNA in 福岡
- 25日 JRCNA in 福岡
- 26日 JRCNA in 福岡
- 27日 東京保護観察所プログラム
- 28日 J-MARPP
- 30日 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター 榛名女子学園薬物依存離脱指導
- 31日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導

8月

- 4日 3施設合同大洗海水浴 J-MARPP
- 6日 榛名女子学園薬物依存離脱指導
- 7日 喜連川社会復帰促進センター薬物離脱指導 栃木県精神保健福祉センター講演
- 8日 家族教室
- 9日 ウクレレフェスタ
- 10日 黒羽刑務所薬物依存離脱指導
- 13日 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター
- 14日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
- 17日 黒羽刑務所薬物依存離脱指導
- 19日 宇都宮保護観察所プログラム 栃木DARC・岡本台病院連絡会
- 21日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導 明徳会
- 24日 東京保護観察所プログラム
- 25日 J-MARPP

発行所

郵便番号一五七—〇〇七三 東京都世田谷区砧六—二六—二一
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価 100円

SSKO

栃木ダルク

ニュースレター 第147号(2015, 7, 14)

Grow up!!

Drug Addiction Rehabilitation Center
DARC

薬物依存の回復支援活動の最前線からみた危険ドラッグ

特定非営利活動法人 栃木 DARC
代表理事長 栗坪千明

146号からの続き

III.大麻から危険ドラッグに移行した事例

- ・年齢：27歳（ダルク利用開始26歳）
- ・利用期間13ヶ月(Stage3)
- ・学歴：高卒
- ・婚姻：既婚(子供2歳)
- ・仕事：高校卒業後は、建設関係や飲食店（バイト正社員を含め複数の職場を点々）と働く。結婚は25歳（子どもが出来たのがきっかけ）。結婚後7ヶ月からダルク入寮まで無職だった。
- ・大麻から危険ドラッグへ移行
- ・大麻使用：17歳からクラブ関係の先輩の勧めで使用開始。週末クラブに行く際に使用（5～6千円/1g）するようになった。20歳頃使用停止。付き合い程度の飲酒はあった。
- ・危険ドラッグ使用：26歳（無職時）クラブ関係の友達と再会し、勧められて使用開始。スパイスという銘柄で大麻効果の時もあれば、覚醒効果の時もあった。宇都宮市内の店舗で購入（5千円/3g葉）していた。
- ・使用開始から3ヶ月ほどで連続使用（タバコのように使用）、大麻に比べ、効きが強烈で効果は短い（2～3時間）と感じた。2ヶ月経過後幻覚（人がいるような）が出はじめ、嘔吐や呼吸困難などの身体症状もあり、その1週間後には意識障害を起こし妻の通報で救急搬送を機に家族の強い勧めでダルク入寮となった。連続使用になってからは身体が拒否しているような感覚や脳が壊れていくような感覚が常にあった。ダルク入寮後2～3日後に、不眠、情緒不安定、手のしびれなどの症状が出現し、精神科受診、精神薬（デパケン200m/1日）の服薬（その後9ヶ月間服用、段階的に減薬）によりおさまった。入寮当初は記憶力の低下などが3ヶ月ほどは感じられたが、現時点では生活に支障をきたさないレベルに改善。
- ・特徴：使用停止している期間が5年ほどあった（大麻から危険ドラッグ）。危険ドラッグの使用開始から短期間で精神症状の発現があった。

編集 特定非営利活動法人栃木DARC

〒320-0014

栃木県宇都宮市大曾 2-2-14 形松ビル3F

TEL 028-650-5582 FAX 650-5597

URL <http://www.t-darc.com> Eメール: nesm@t-darc.com